



本村幼稚園 7月の園だより

平成30年6月29日 港区立本村幼稚園長 山村 登洋

本村夏祭りの成功で子供たちの成長を見た！

早いもので1学期も残り3週間となりました。これまでの遊びや行事を通して、少しずつ、また大きく成長をし続けている子供たち。教育の積み重ねの大切さを改めて感じています。

6月20日の本村夏祭りでは大勢の保護者、地域の皆様のご協力の下、無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。当日は残念ながら雨模様、園庭で行う予定のお神輿、忍者のダンスやサンサン音頭は室内となってしまいましたが、お祭りそのものは大盛況でした。子供たちの活躍する姿やお祭りを楽しむ様子もたくさん見る事ができました。

行事で育つ 本村の子どもたち！

<年少・りす組>

初めての夏祭りでしたが、水族館遠足の楽しい経験やその後の遊びを通して、学級のみんなで一緒に「わっしょい！さかなつり」の準備を進めてきました。祭り本番の受付などの係も親子で一生懸命にやりました。同じ本村幼稚園の友達や年長組、本村小学校の児童や近隣の保育園児たちに対して、あいさつをしながら、簡単にさかなつりの説明をして、バケツと釣り竿を渡していました。子供たちが作成した色鮮やかな魚を釣るのはとても気持ち良かったです。釣り竿も簡単用から難しい用まで3段階準備されていましたね。よい工夫でした。

他のお店を回るときは、そのお店のルールを守り楽しく遊んでいました。当たり前なことなのですが、順番をしっかりと待って並んでいる様子、近隣の保育園児に席を譲る姿を見て、4歳児としての成長を感じました。



<年長・はと組>

はと組は、昨年が続いて2回目のお祭りということで、もの作りの遊びを通して、いろいろな工夫がありました。「もうじゅうホーリング」では、ボールを投げた後、ボールをプレイヤーに渡すための専用レーンを増設し、スムーズにボールがプレイヤーに渡せるように考えました。子供たちが交代しながら3人でこの「もうじゅうホーリング」を運営していました。「どうぶつわなげ」の動物の鼻の長さも子供たちが話し合って長さを決めました。難度をつけるために鼻の長さに差をつけたところが良かったです。「ほんむら忍者」では、プレイヤーを覗くのぞき窓を作りました。プレイヤーが手裏剣を的に当てるとき、的を持っている担当の顔などに手裏剣があたらないための安全対策です。我々教員が言う前に、しっかりと子供たちからこのような意見、考えが出てくるなんて素晴らしいと思いませんか。それだけで、はと組の子供たちの成長を十分に感じる事ができました。



夏休みまでもう少しですが、プール遊びも始まりました。また、これまでの1学期に積み重ねてきた経験、コミュニケーションを大切にしまとめの遊びを行っていきます。ご家庭でも引き続き子供たちへの支援をよろしくお願い致します。